

聖書箇所:ヨシュア記1章1-9節
『強くあれ。雄々しくあれ。』

【1】強くあれ。雄々しくあれ。

- ・「強くあれ。雄々しくあれ。」(ヨシュア 1:6; 7; 9) の背景
 - ヨシュア…従者から指導者へと意識を変革させる必要
 - イスラエルの民…心を定める必要 (ヨシュア 1:17)。

【2】ヨルダン川を渡れ

- ・神のイスラエルの民への命令
 - 「ヨルダン川を渡る」こと
 - ◀モーセの時代、神のことばに従わず
 - 「ヨルダン川を渡る」ことを拒絶した民 (民数記 32 章)。
 - 「神が父祖たちに与えると誓われた地を受け継ぐ」こと (創世記 12:7)。
 - ◀約束の地は人の努力功績で得るものではなく、神からの贈り物
 - 「神の律法を守り、行う」こと
 - ◀イスラエルの民の中心に神の教えを置くこと
 - ◀「口ずさむ」=神の言葉を心に刻んで生きる (詩篇 1:2)。

【3】わたしがあなたとともにいる

- ・モーセのヨシュアへの遺言「強くあれ。雄々しくあれ。」(申命記 31:6)
 - モーセの自己理解…「私はいったい何者か」(出エジプト 3:11)
 - ▶神の応答「わたしがあなたとともにいる」(3:12)

—自身の経験に基づく遺言

「強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身があなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」(申命記 31:6)

▷神の用意された「今」という時を正しく受けとめ、信仰をもって、前に向かって一步を踏み出しましょう。「強くあれ。雄々しくあれ。あなたの神、主があなたとともにいるのだから」。この約束に信頼して。

